

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1572200762		
法人名	社会福祉法人 愛宕福祉会		
事業所名	グループホームさど		
所在地	新潟県佐渡市両津湊343-45		
自己評価作成日	令和4年12月5日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=1572200762-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和5年3月30日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>グループホームさどでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者視点にたった支援を行い、意思決定支援を実践する。 ・各事業所での取り組みを情報発信(広報誌、インスタなど)していく。 <p>という2つの目標を軸にBユニットでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者一人ひとりの思いを大切に、自己決定支援を実践する。 ・職員同士の理解を深め合い、一つのチームとしてケアを提供していく。 ・ご家族との関係性を大切にし連絡と相談を行い、生活の様子を定期的にお伝えしていく。 <p>と3つの目標を掲げている。</p> <p>さらに個人ごとに細かく目標を設定し日々の業務に取り組んでいる。</p> <p>建物はすぐ隣に湖があり、食堂からの見渡しも良く開放的である。ご利用者も外の景色を眺めたり、散歩に出るのを楽しみにされている。</p> <p>コロナウイルスの影響もあり、ご家族や地域との関係性が薄れてきているのが課題である。</p> <p>さまざまな研修を通して職員の認知症に関する知識やケアの質を上げる事に力を入れ取り組んでいる。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>○地域の一員としての事業所をめざして</p> <p>事業所はコロナウイルス感染防止のため近年は書面を主流とした運営推進会議を定期開催している。対面に比べ意見交換が困難と予想される中、書面資料とともに同封される意見要用紙にはヒヤリハットへの事故防止提案、職員移動への不安、ねぎらい感謝の言葉など、多様な意見が毎回返信されている。毎年交代制ながらも参加して下さる2名の各地区長、民生委員、家族等の住民代表である構成委員からは忌憚ない率直な意見要望が出されるという。まさに地域の事業所としての意識を示されたものであり、開設25年の歴史による成果と思われる。管理者は今年度の事業所目標として地域住民との関係性の増進を上げており、そのため市の担当者さらなる情報交換を行い、広報誌の活用を予定していると意気込みを話してくれた。今後も地域の事業所としての活躍が期待される。</p> <p>○利用者・家族と繋がる取り組み</p> <p>事業所は二階にあり周囲を遮る建物もなく加茂湖が一望でき心地よい環境である。事業所では目標の一つとして情報発信をあげている。またユニットでは利用者と家族との関りを密にしていることから情報の伝達の大切さが感じられる。管理者を中心に職員は情報の共有に努め、特に事業所の協力医が全利用者のかかりつけ医となって毎月の往診前に利用者の体調等を「往診依頼シート」に記載し、事前にFAXで伝えることで円滑な受診を実施している。訪問看護においても、ユニットごとに月二回の訪問により利用者の健康管理がされている。その都度、家族への報告もされ、他科受診や他医療機関への移行についても協力医とともに円滑な支援が展開されている。居室づくりについては利用者の家族が島外が多いということもあり、家族が対応が難しい時はラインやFAXで写真や見取り図を送信し納得を得るなど家族との連絡を密に努めている。自分たちの掲げた目標や方針に向け、ケアの質の向上に務めている事業所である。</p>
--